

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06070071 A**

(43) Date of publication of application: **11 . 03 . 94**

(51) Int. Cl

**H04N 1/00**

(21) Application number: **04242756**

(71) Applicant: **CANON INC**

(22) Date of filing: **19 . 08 . 92**

(72) Inventor: **TAKAHASHI KEIJI**

**(54) FACSIMILE EQUIPMENT**

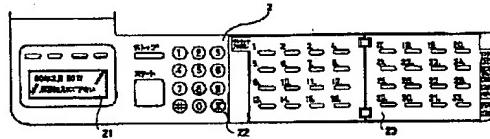
operated without looking at the display part 21.

**(57) Abstract:**

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

**PURPOSE:** To easily operate keys by providing plural panels on which the relation and the connection of one-operation keys are graphically displayed capable of being opened and closed while being fitted to respective key tops and switching the functions of the respective keys corresponding to display content by opening and closing the panels.

**CONSTITUTION:** An operation part 2 is constituted of a display part 21, a ten-key part 22 and a panel part 23 constituted of four panels capable of being opened and closed provided with the plural one-operation keys and holes fitting to the respective key tops. All of the one-operation keys 1-32 function as one-easy-step dial keys by a panel detection sensor at a first panel by the opening and closing of the panels. Then, at second-fourth panels, the keys 1-32 are switched and function as the respective keys for telephone number registration, user data registration, report output, user software switching registration and copying, etc. Also, on the respective panels comments for indicating the functions of the keys and the operating procedure of an arrow, etc., are displayed. Thus, the keys can be easily



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-70071

(43)公開日 平成6年(1994)3月11日

(51)Int.Cl.  
H 04 N 1/00

識別記号 庁内整理番号  
C 7046-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数6(全9頁)

(21)出願番号 特願平4-242756

(22)出願日 平成4年(1992)8月19日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 高橋 啓二

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

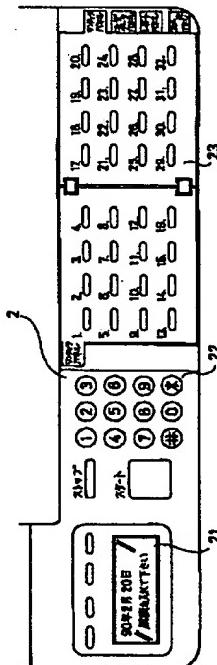
(74)代理人 弁理士 川久保 新一

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【目的】 カバーを開閉することにより複数の操作面を切り換えて入力する操作部において、キー入力操作を容易に行うことができるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【構成】 ワンタッチダイヤルキーの個々のスイッチのキートップが嵌合する穴を有したカバーをスイッチ群上に開閉可能に設け、そのカバーを開くか閉じるかにより入力機能が切り換えられるようにしたファクシミリ装置の操作部において、上記カバーに、ワンタッチキーとの関係、連絡を図示表示した複数枚のパネルシートを追加して設け、上記ワンタッチキーとパネルシートに表示された内容が連動するようにした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ワンタッチダイヤルキーの個々のスイッチのキートップが嵌合する穴を有したカバーをスイッチ群上に開閉可能に設け、そのカバーを開くか閉じるかにより入力機能が切り換えられるようにしたファクシミリ装置の操作部において、上記カバーに、ワンタッチキーとの関係、連絡を図示表示した複数枚のパネルシートを追加して設け、上記ワンタッチキーとパネルシートに表示された内容が連動するようにしたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1において、

上記ワンタッチキーの一部をパネルシートの切り換えを認識するためのキーとして割り付けることにより、パネルシートの切り換えを検知するセンサを追加することなしで、複数枚のパネルシートの切り換えを認識するようにしたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 請求項1において、

上記パネルシートの端面にパネルシートの機能を記載し見出しを設けたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】 請求項1において、

上記ワンタッチキーの個々のスイッチがそれぞれLEDを有し、上記パネルシート上に各キー周辺に各キーの機能を表示するとともに、キーとキーの間にキーの連絡を示す表示を行う一方、操作中に次に操作すべきキーを上記LEDにより表示することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項5】 請求項1において、

ファクシミリ装置内の切り替えスイッチまたはソフトスイッチの切り換えにより、パネルシートの追加または削除を行うようにしたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項6】 請求項1において、

共通の機能キーまたは独立した機能キーをパネルシートの開閉に係わらず機能的に有為にするようにパネルシートの一部を透明にしたことを特徴とするファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ファクシミリ装置におけるワンタッチダイヤルキーを用いたメニュー方式に係り、特に複数枚の開閉可能なカバーのある操作部を有するファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、図3および図4に示すように、ワンタッチダイヤルキー上に開閉可能なカバーのある操作部を有するファクシミリ装置が知られている。

【0003】このようなファクシミリ装置では、例えば第1パネル面(図5参照)において、各キーをワンタッチダイヤルとして使用し、第2パネル面(図6参照)において、各キーを各種の登録用として使用している。そ

して、第1パネルと第2パネルは、操作部に実装されている検知センサ24により、パネルが切り替わったことを検出できる。

【0004】ここで、第2パネル面を使用する場合、ある1つのキーを押下した後、スクロールキー(△または▽)を連続的に押下していくことにより、表示部を見ながら必要としている機能まで操作していく。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従10 来例では、ユーザはスクロールキーを押下する毎に表示部を見て確認するという操作を繰り返し行う必要があり、また、使用説明書を見ながら操作しないと、必要としている機能までたどり着けないという欠点があった。

【0006】また、上述のような方式では、どういう機能がどういうルートに入っているかとか、全体のルート構成がどうなっているかということをユーザが把握するのが困難であった。

【0007】本発明は、カバーを開閉することにより複数の操作面を切り換えて入力する操作部において、キー20 入力操作を容易に行うことができるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、ワンタッチダイヤルキーの個々のスイッチのキートップが嵌合する穴を有したカバーをスイッチ群上に開閉可能に設け、そのカバーを開くか閉じるかにより入力機能が切り換えられるようにしたファクシミリ装置の操作部において、上記カバーに、ワンタッチキーとの関係、連絡を図示表示した複数枚のパネルシートを追加して設け、上記ワンタッ

チキーとパネルシートに表示された内容が連動するようにしたことを特徴とする。

【0009】これにより、ユーザは、上記パネルシートのみを見て、その手順通り操作していけばよいので、上記のようなスクロールキーと表示部を交互に見ながら操作する必要がなく、ユーザに非常に親切なオペレーションを提供することができる。また、複数枚のパネルシートを見ることで、全体のルート構成やどういう機能があるのかを使用説明書なしに一目瞭然に把握することができる。

【0010】

【実施例】図1は、本発明の第1実施例におけるファクシミリ装置の操作部を示す上面図であり、図2は、本実施例のファクシミリ装置の外観を示す斜視図である。

【0011】まず、図2により装置全体の概略構成を説明する。本ファクシミリ装置において、装置本体1の前面に操作部2が配置され、右側に原稿積載台3が形成され、左側に原稿読み取り部4が形成されている。

【0012】さらに、装置本体1の左側に、原稿読み取り部4によって読みとられた原稿を積載する原稿排紙トレイ5が取り付けられている。また、装置の後側にハン

ドセット6が配置されている。

【0013】次に、図1により操作部2の特徴部分について説明する。この操作部2は、表示部21と、テンキ一部22と、複数のワンタッチキーによって形成される開閉可能なパネル部23とを有して構成されている。

【0014】次に、パネル部23について、図7から図11により詳細に説明する。まず、図7はパネル部23を示す斜視図であり、図示のように、パネル面が4面構成になっている。また、全てのキーがワンタッチダイヤルキーとして働く第1面(図8)のパネルと、第2面以降のパネルとを区別するためにパネル検知センサ24が実装されている。

【0015】図8は、上記第1面を構成するワンタッチキーのパネルを示す平面図であり、32個(4行×8桁)のキー全てがワンタッチダイヤルキーとして機能する。図9は、第2面を示す平面図であり、電話番号登録パネルとユーザデータ登録パネルとして機能するパネルである。この第2面以降のパネル使用時は、パネル検知センサ24により、32個のキー全てがワンタッチダイヤルキー以外として機能する。

【0016】図9からわかるように、パネル上では、キーの上側にキーの機能を示すコメントを書いているので、ユーザはコメントと矢印通りにキーを押すことによって装置を操作することができる。このようにパネル上に操作手順を記載しているのでユーザは、表示部21を見ることなしにコメントと連動したキーを押していくようにして、容易に操作できる。

【0017】以下同様に、図10は、第3面目を示す平面図であり、ユーザデータ登録パネルとレポート出力パネルとして機能するパネルである。また、図11は、第4面目を示す平面図であり、ユーザソフトスイッチ登録パネルとコピー他パネルとして機能するパネルである。

【0018】各パネルには、ワンタッチパネル、TEL登録パネル、ユーザデータパネル、レポートパネル、ユーザソフトSWパネル、コピーパネルという見出しが付いており、どのパネルがどの機能かが一目で認識できるようになっている。

【0019】また、キーの1列目と5列目を機能キーとして割付けており、第2面目以降についてはパネルを切換えるための検出センサが不用である。つまり、第1列の第1行目のキーはTEL登録キー、第2行目のキーはデータ登録キー、第3行目のキーはソフトSW登録キーというように割付けることにより、その第1列目のキー押下後、第2列目から第4列目のキーは、第1列目の機能キーとしてソフト的に認識するように設定している。また、第5列目のキーと第6列目から第8列目のキーとの関係についても同様である。従って、このようにソフト的に認識できるので、パネルの切り替えを検出するセンサが不用となる。

【0020】図12は、本発明の第2実施例として、ワ

ンタッチキーがLED付きになった操作部の第2パネル面を示す平面図である。図示のように、全てのワンタッチキーにはLED25がキーと一緒にになって設けられている。

【0021】例えば最初にTEL登録キーを押下すると、このTEL登録キーのLEDが点灯し、同時に矢印で連結されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルのそれぞれのキーが点滅を始める。以下、順に点滅しているキーを選択し、押下していく毎に、矢印で連結された次のキーが点滅していく。このようにしてユーザは、キーのLED点灯および点滅に従ってキーを選択していくことにより、次に押下すべきキーを容易に認識することができる。

【0022】図13は、本発明の第3実施例として、パネルシートを追加したり取り外してできる接合部26を示す斜視図である。この接合部26は、円弧上になっており、一端が操作部2に一体になって取り付けられ、他端が操作部2と離れて先端がフック形状になっている。そして、パネルシートが取り付けられた状態では、接合部26を支点にしてシートが回転可能となり、パネルシートを追加したり取り外したりするときには、パネルシートを図中の矢印方向にスライドさせることにより、フック部の弾性によって接合部26に係合したり外れたりする。

【0023】また、パネルシートを追加したり取り外したりしたとき、装置内の切り替えスイッチまたはソフトスイッチによって切り替えることにより、パネルシートに記載された機能とキーとが連動するようになっている。

【0024】このようにパネルシートを追加したり取り外すことにより、ユーザは要求している機能を追加したり不要な機能を削除したりできる。さらに言語の異なる地域に対しては、パネルシートを交換するだけで対応できる。従って、装置の各国対応が容易になる。

【0025】図14は、本発明の第4実施例として、パネルシートの一部が透明部27になった状態を示す斜視図であり、この例では、クリアの機能を有するキーのパネルシート部分を透明にしている。このように共通して使用する機能を有するキーのパネルシート部分を透明化することによって、パネルシートを開閉しても表示が変わらずに機能としても共通に使うことができる。また、ユーザに対しても共通の機能をもったキーとして認識され、操作性も向上できる。

【0026】なお、以上の実施例では、パネルが4面でワンタッチキーが4行×8列の32個の場合について説明したが、パネルが4面以上でワンタッチキーが32個以上の場合についても、あるいはそれ以下についても実施できる。

【0027】また、パネルの機能をソフト的に認識するためのキーを第1列目と第5列目に設定したが、他の列

や行のキーに設定しても実施できる。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、複数枚のパネルシートを追加することにより、パネルシートに記載されている手順に従ってキーを押すだけで、ユーザは使用説明書を見ずに、また操作部の表示部を見ることなしで容易にキー操作を行うことができる。さらに、複数枚のパネルシートを見ることで、全体のルート構成やどういう機能があるのかを容易に把握することができる。

【0029】また、各パネルシートに機能を記載した見出しを付すことにより、一目瞭然に探している機能を見つけることができる。さらに、キーを機能毎にグループ化することにより、パネル検知センサを追加することなくパネルの切り替えを認識することができ、コスト的にも有利である。

【0030】また、LED付きのキーを使うことにより、LEDの点灯や点滅で次に押下するキーが一目瞭然に認識でき、容易に操作することができる。

【0031】また、パネルシートの追加、削除を可能にすることにより、ユーザが要求している機能を追加したり、不要な機能を削除でき、さらに簡単にパネルシートを交換できるので、装置の各国対応が容易に行える。

【0032】また、パネルシートの一部を透明にすることにより、表示が変わらないキーを共通な機能のキーとして割付けて、ユーザに共通キーとして認識させることができ、操作性を向上できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例によるファクシミリ装置の操作部を示す平面図である。

【図2】上記第1実施例のファクシミリ装置の外観を示す斜視図である。

【図3】従来のファクシミリ装置の操作部を示す平面図\*

\*である。

【図4】上記従来の操作部の外観を示す斜視図である。

【図5】上記従来の操作部の第1パネル面を示す平面図である。

【図6】上記従来の操作部の第2パネル面を示す平面図である。

【図7】上記第1実施例のパネル部を示す斜視図である。

【図8】上記第1実施例の操作部の第1パネル面を示す平面図である。

【図9】上記第1実施例の操作部の第2パネル面を示す平面図である。

【図10】上記第1実施例の操作部の第3パネル面を示す平面図である。

【図11】上記第1実施例の操作部の第4パネル面を示す平面図である。

【図12】本発明の第2実施例における操作部の第2パネル面を示す平面図である。

【図13】本発明の第3実施例における操作部を示す斜視図である。

【図14】本発明の第4実施例における操作部を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 1…装置本体、
- 2…操作部、
- 3…原稿積載台、
- 4…原稿読み取り部、
- 5…原稿排紙トレイ、
- 6…ハンドセット、
- 21…表示部、
- 22…テンキー部、
- 23…パネル部。

30

21

22

23

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

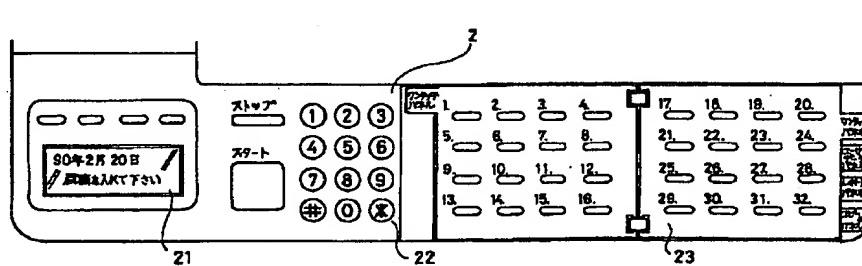
96

97

98

99

100



21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

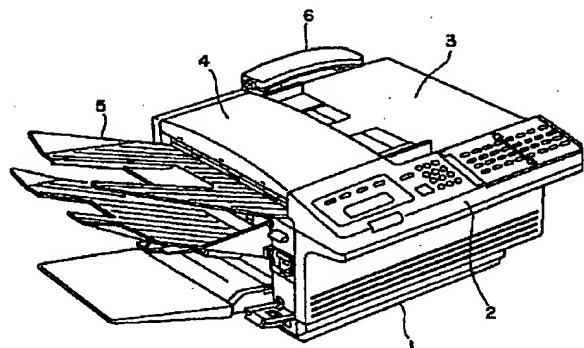
97

98

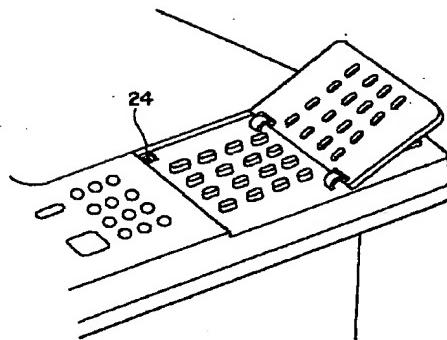
99

100

【図2】



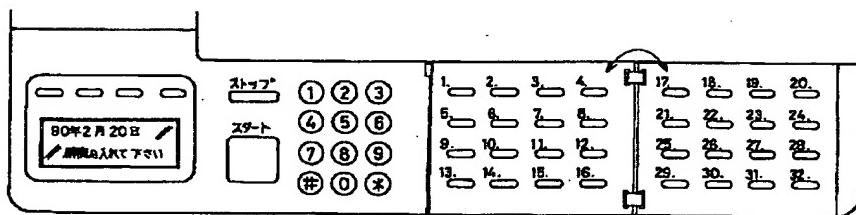
【図4】



K2310

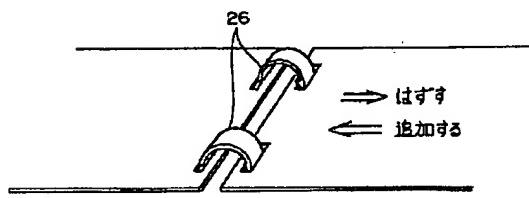
K2310

【図3】

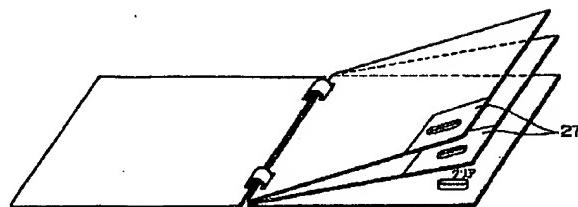


K2310

【図13】

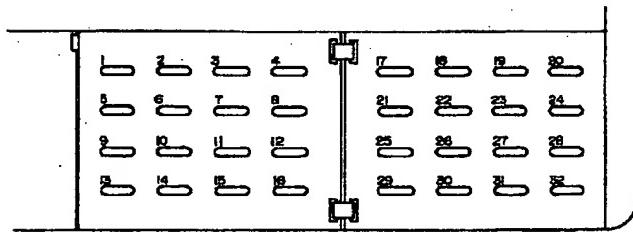


【図14】



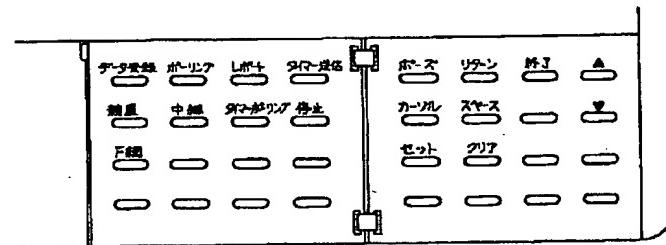
K2310

【図5】



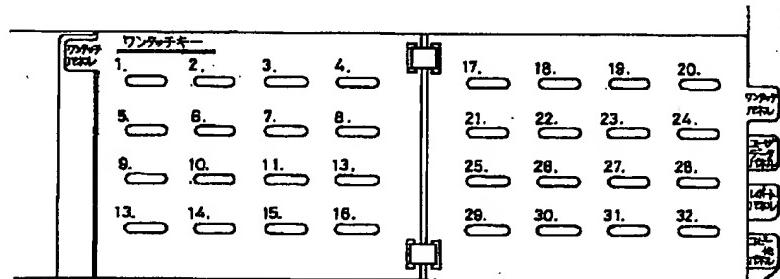
0182X

【図6】



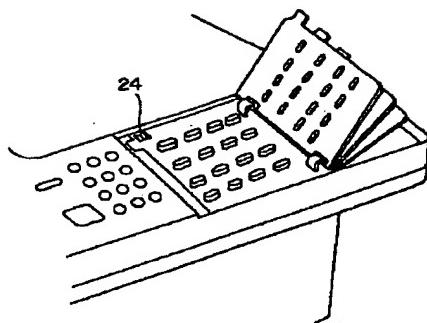
018210

【図8】



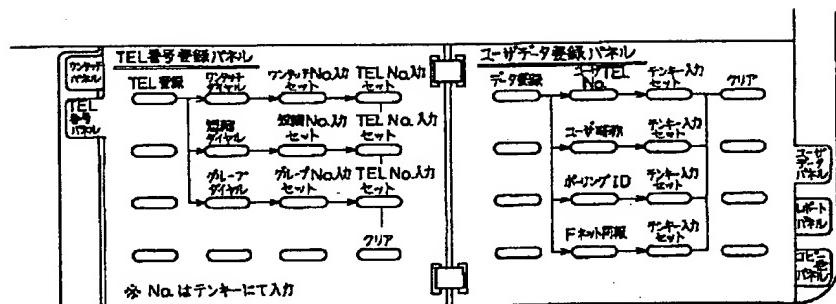
018210

【図7】



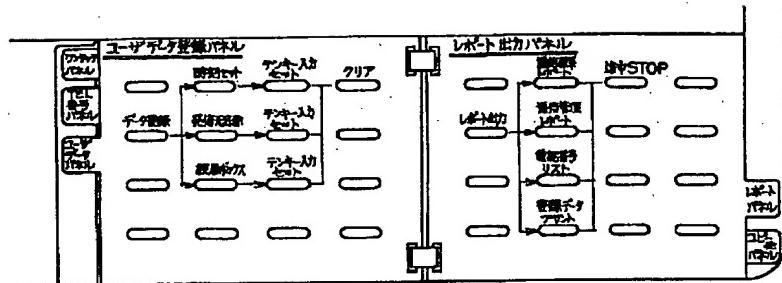
K2310

【図9】



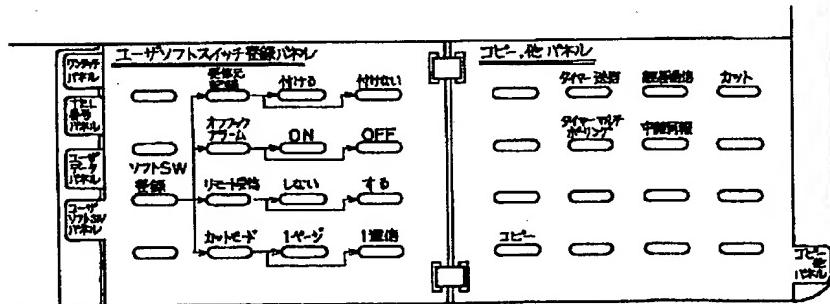
012345

【図10】



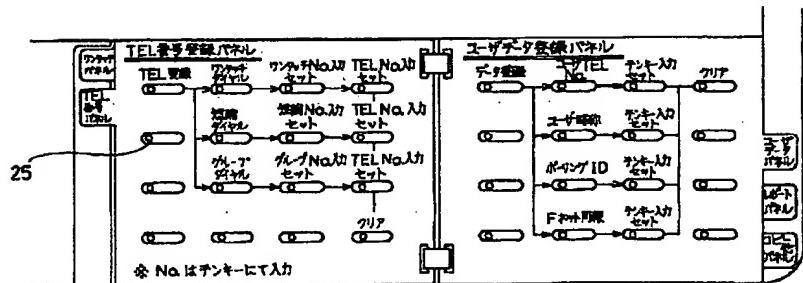
K210

【図11】



K210

【図12】



K0201

25